

社会資本総合整備計画

平成30年4月1日

計画の名称	若林駅付近連続立体交差事業の推進							重点計画の該当	○			
計画の期間	平成30年度～平成34年度（5年間）			交付対象	豊田市							
計画の目標	鉄道を連続的に立体交差化することにより、複数の踏切を削除し、交通渋滞の緩和による円滑な道路ネットワークの形成と踏切事故の解消による都市交通の安全性の向上を図るものである。											
計画の成果目標（定量的指標）	・踏切の数を4箇所（現況値）から0箇所（H37）にする。											
定量的指標の定義及び算定式								定量的指標の現況値及び目標値	備考			
								当初現況値 (H30当初)	中間目標値	最終目標値 (H34末)		
	踏切の除却数を調査する。							0箇所		0箇所		
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	5,721百万円	A	5,721百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 (A/(A+B+C))	0.00%

交付対象事業

A1 基幹事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全年事業費 (百万円)	費用係数比	個別施設計画 進捗状況	備考
									H30	H31	H32	H33	H34				
A-1	街路	一般	豊田市	直接	豊田市	名鉄三河線若林駅付近連続立体交差事業	鉄道高架化 L=2.3km	豊田市						5,721			
									合計					5,721			

B 関連社会資本整備事業（該当事業なし）

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全年事業費 (百万円)	費用係数比	個別施設計画 進捗状況	備考
									H30	H31	H32	H33	H34				
									合計								

C 効果促進事業（該当事業なし）

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全年事業費 (百万円)	備考
									H30	H31	H32	H33	H34		
									合計						

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業（該当事業なし）

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全年事業費 (百万円)	備考
									H30	H31	H32	H33	H34		
									合計						

計画の名称	若林駅付近連続立体交差事業の推進（交通拠点を連携集中支援）		
計画の期間	平成30年度 ～ 平成34年度（5年間）	交付対象	豊田市

